

新型コロナウイルス感染拡大から いのちと暮らしを守れ

日本共産党市議団が第3次要望書を提出

日本共産党八王子市議団は15日、石森市長に対し、「新型コロナ対策に関する第3次要望書」を提出しました。4月17日の第2次要望書の提出以降、市民の皆さんから寄せられた要望をまとめたものです。医療機関や介護事業所、中小業者、学生など市民

生活への支援や、学校の休業に対する措置、保健所の体制の充実とPCR検査状況の公開、情報提供など35項目の要請を行いました。申し入れに対し、木内副市長は「要望の内容を受けとめて、できるものはしっかりと実行していきたい」と述べました。

【主な要請項目】

- ・1次・2次補正予算の早期実行。
- ・1次補正で、余剰財源が発生した場合は医療機関への支援にまわすこと。
- ・抗体検査キットなど新たな検査方法も行い診療と検査機能の充実を図ること。
- ・病院の医師・看護師・職員及び患者のPCR検査を実施すること。
- ・感染者受け入れの病院、発熱外来対応病院等への財政的支援を行うこと。これらの病院の医師や看護師に危険手当を支給すること。
- ・障害者、疾病を抱えている高齢者に支援を行うこと。
- ・感染予防のため介護認定更新時期の延長措置を取ること。
- ・収入減となっている介護事業所の実態を把握し経営支援を行うこと。
- ・国保の値上げを撤回し、生活困窮減免及び猶予制度を周知すること。傷病手当金については、自営業者やフリーランスにも適用すること。
- ・防災無線の広報は、市民が必要とする情報の提供を行うこと。
- ・経済的に困窮する学生に対して家賃補助などの助成を行うこと。
- ・中小業者、飲食・小売商店などに市独自の家賃助成を行うこと。
- ・仕事が大幅に減ってしまった建設関係事業者のため、経済的波及効果が大きい住宅リフォーム助成制度を創設すること。
- ・給食食材生産農家への購買支援、また学校給食関連業者には、収入減に見合う損害額補填を行うこと。
- ・副教材費の支援など保護者負担の軽減を図ること。
- ・1学期の成績評価について、家庭学習の習熟度は家庭環境に大きく左右されるので十分に配慮すること。市の学力テストは中止すること。
- ・保健所体制の充実を進めること。
- ・八王子市の医療情報ならびにPCR検査状況を明らかにすること。



● 15日「新型コロナ対策に関する第3次要望書」を提出する八王子市議団

● 5/29臨時議会、6/8から第2回定例会



5/29の市議会臨時会では、これまで行ってきた新型コロナ対策について審議されます。アオヤギ有希子市議員が、代表質疑を行います。インターネット中継されます。

1人10万円 特別定額給付金コールセンター

コールセンター電話番号（平日 午前9時～午後5時）

0570-030009



要望が実現！ 保健所を経由したPCR検査を公表

- ・期間 1月1日～5月15日
- ・全検査数 345件 陰性確認を除いた件数 319件(a)
- ・陽性者数 29名 陰性確認を除いた人数 20名(b)
- ・陽性率(b/a)×100 6.3%

市内の新型コロナウイルス感染者

42人(35人退院等)(市HPより5月18日現在)

共産党市議団に寄せられたコロナ対策のご意見ご要望(一部)

- 「子どもが通うスポーツクラブのバスを来月末から廃止するとの連絡があった。コロナが治まってもバスが廃止されたら通えない」と相談がありました。



- 特別定額給付金の申請書が18日から全世帯へ郵送されています。しかし、多くの市民から「今すぐにお金が必要だ、八王子はいつ給付するのか」という声が寄せられました。コールセンターに連絡すると「申請してから1～2週間で給付される」と回答がありました。

- 「国の持続化給付金を全てのフリーランスを対象にしてほしい。郵送でも申請できるようにしてほしい」

- 他市で次亜塩素酸水を配布しています。八王子市もアルコール消毒液不足に対応してほしい。

- 「店のお客が減り税金が支払えない」との相談がありました。納税課と相談し、分割納付で解決しました。

- 「4、5月分の学校給食費が徴収された。年度末で清算すると言われても、食べていない給食費を集めるのはおかしい」

みなさんの声、ご要望をお寄せください